

環境意識を向上させ消費電力量を大幅削減

PCの環境負荷を低減する

システムウォーカー

「Systemwalker

Desktopシリーズ V14g」

富士通は、資産管理や情報漏洩対策等、オフィスのPCを取り巻く様々な課題を解決する「Systemwalker Desktopシリーズ」に、「PCの省電力化」「印刷用紙の削減」の新機能を追加した「Systemwalker Desktopシリーズ V14g」の販売を2009年5月より開始しました。

【Systemwalker Desktop Patrol V14gの新機能】

PCの消費電力量・CO₂排出量、電源設定等を利用者が画面で確認可能。決められた電源設定ポリシーに違反すると警告が表示されます。その場合、

利用者はワンクリックで正しい設定に変更可能。これらにより、管理者側からは統制が難しい末端のPCを管理するとともに、利用者の環境意識を向上させます。また「スタンバイ」や「休止」時でも設定時間通りにウイルススキャンを行い、セキュリティと省電力を両立。

その他、管理者による電源設定の一括管理や、電気代・CO₂排出量削減効果の把握を可能とします。

【Systemwalker Desktop Keeper V14gの新機能】

PC毎に印刷ページ数の上限を設定。オーバー時には当該PCに警告を表示し、印刷を禁止することで用紙削減を徹底。また、管理者向けレポートにより、印刷ページ数削減による印刷用紙代とCO₂排出量の削減効果を「見える化」します。

詳細はこちら ▶▶▶ <http://jp.fujitsu.com/about/journal/products-services/20090601-02/>

ノウハウ活用で日本の製造業をより強くする

富士通の次世代PDM

プレミア

「PLEMIA M3」シリーズ

3製品の販売を開始

ものづくり企業に求められるのは安く、早く、いいものをつくること。この影響を最も大きく受けるのが設計部門です。

製品コスト削減に向けて、個々の部品の材質を変える、つくりやすい形状に変更する、モジュール化する等の取り組みが必要となってくるからです。

そこで課題となるのは様々な要因で発生する手戻りです。富士通と富士通長野システムエンジニアリングは、手戻りの少ない開発を実現する「PLEMIA」の次世代コンセプト「M3」を確立。シリーズ第一弾

として、①「PLEMIA/BOM Standard One」(部品表の基本機能)、②「PLEMIA/BOM Standard」(複数の生産形態に対応)、③「PLEMIA/BOM Enterprise」(グローバル設計に対応)の3製品の販売を開始しました。このうち①と②には、受注生産タイプと量産タイプに最適な機能をパッケージした製品もご提供します。

「PLEMIA M3」のコンセプトは、設計の上流から技術者同士のアイデアを共有しながら行う「擦り合わせ型開発」と、「プロジェクトに潜むリスクを察知して先手を打つマネジメント」をシステムで提供し、手戻りの少ない開発を実現すること。設計ノウハウを『製品情報』、『設計プロセス』、『設計リソース』の3つのマネジメント軸で体系的に管理し、人の勘や経験に頼っていたマネジメントの判断をITで支援します。

詳細はこちら ▶▶▶ <http://jp.fujitsu.com/about/journal/products-services/20090519/>

富士通ジャーナルサイトもあわせてチェック!

富士通ジャーナルサイトでは、冊子でご紹介した製品の詳しい情報や、冊子ではご紹介しきれないお奨めの製品情報を毎週更新しています。ぜひご覧ください。

富士通ジャーナル プロダクト&サービス

検索

<http://jp.fujitsu.com/about/journal/products-services/>